

めに考えたり決断を下したりするようになり、その結果、「ひと」の生産性は向上し、日常生活のテンションは下がり、より快適な人生が送れるようになるに違いないと思います。医学の分野では超微小な分子コンピュータの開発により、毛細血管内での手術ができるような時代がならず来るでしょう。もちろん、このようなコンピュータをインターネットに連結することも可能になるのです。

加藤 現在すでに、航空会社のメインテナンス・スタックは、サイボウグの目のようなナースアクトを頭に着け、超小型のコンピュータを身にまとい、航空機の補修作業に当たっています。このコンピュータには、何百ページもある膨大な修理マニュアルが内蔵されていて、現場に分厚いマニュアルを持ち込むわけには行かないスタックを大いに助けています。これはあくまでも一例に過ぎません。しかし、今後インターネットが普及するにつれて、ますます多くの情報技術が開発され、個人の生活をより豊かにしてゆくに違いありません。

また、インターネットは単に物質の面だけではなく、IT革命以前はとかく稀薄になっていた人間同士のコミュニケーションの復活を可能にすることで、今日でも、これから先も地球上のあらゆる人々の精神生活に大きな潤いを与えると思います。

ヒース 私の個人的な経験からいっても、まったくそのとおりだと思いますね。インターネットには、情報時代のテクノ

ロジーが最大限に活用できます。そのようなインターネットが普及することによって、我々は機械化時代には失いがちな、つた人間らしさを取り戻すことができるに違いない。

実は、私には甥や姪が何人もいますが、インターネットを使う前までは、私は彼らのことはあまりよく知りませんでした。しかし今では、メールのやり取りがきっかけになつて、彼らのことがよくわかるようになりまして、会う機会が以前よりずっと増えました。その結果、一族の関係は非常に親しく緊密なものになっていきます。インターネットは人に、人間的な触れ合いがいかに貴重なものであるかをあらためて思い出させてくれたのです。

加藤 私も同じような体験をしましたよ。三十年前に生まれ故郷の中学校で同期生だった人物から、最近巨メールをもらったのですが、もし今ほど情報技術が進歩していなかったら、旧友とこうしてコミュニケーションすることはおそらくなかつたでしょう。IT革命がこれから人間の経済生活だけでなく、精神生活をもいっそう豊かにしてゆくことはたしかですね。ヒース IT革命は産業革命以上の恩恵を人類にもたらすと冒頭で言われましたね。私はこれを、人間の魂を復活させたい、あのルネッサンスの再来と言つてもよいのではないかと思います。

加藤 そう、第二のルネッサンスですよ。
(同会・構成 本誌北米総局 堀谷敏)